



メンバー表  
第36回 関東女子ラグビーフットボール大会 第8節

2025/12/14  
14:00 Kick Off  
府中朝日フットボールパーク

東京山九フェニックス (Host)			日本体育大学ラグビー部女子 (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー	
殿川眞弘 (関東協会)	タッチジャッジ
田中愛 (関東協会)	
小菅礼子 (関東協会)	
北川夏光 (関東協会)	

東京山九フェニックス						
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	小牧 日葉多		24	165/77	石見智翠館高校 → 日本体育大学
2	HO	小鍛治 歩		25	158/83	アナン学園高校
3	PR	岸本 彩華		26	160/82	鹿児島工業高校
4	LO	村瀬 加純		22	168/75	愛知県立名南工業高校 → 日本体育大学
5	LO	佐藤 優奈		27	170/76	石見智翠館高校 → 慶應義塾大学
6	FL	増田 結		25	163/62	我孫子高校 → 麗澤大学
7	FL	倉持 美知		27	155/60	千葉県立千葉女子高校 → 麗澤大学
8	No.8	サバナ・ボッドマン	F	23	168/70	Kamo High School → 日本経済大学
9	SH	中島 涼香		23	155/53	関東学院六浦高校 → 法政大学
10	SO	黒川 碧		28	163/67	石見智翠館高校 → 立正大学
11	WTB	奥野 わか花		25	155/55	石見智翠館高校 → 慶應義塾大学
12	CTB	古田 真菜		28	167/70	筑紫高校 → 立正大学
13	CTB	野澤 友歩		20	157/56	四日市メリノール学院高校 → 立教大学
14	WTB	山本 侑衣菜		20	151/50	関東学院六浦高校 → 帝京大学
15	FB	松村 美咲		20	169/71	関東学院六浦高校 → 早稲田大学
16	Re.	地藏堂 萌生		23	163/75	筑紫高校 → 日本体育大学
17		高(はしごだか)木 恵		32	160/83	日本体育大学荏原高校 → 日本体育大学
18		アラナ・シキメティ	F	21	178/105	St John Fisher College
19		田中 沙弥香		20	171/53	桐蔭学園高校 → 横浜市立大学
20		田中 怜恵子		30	162/62	バーンサイド高校
21		野澤 友那		20	158/57	四日市メリノール学院高校 → 立教大学
22		山本 梨月		19	153/54	関東学院六浦高校 → 立教大学
23		岡田 はるな		30	167/71	愛知県立三好高校 → 追手門学院大学

日本体育大学ラグビー部女子						
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	八尋 瑛		20	162/73	石見智翠館高校
2	HO	浦山 亜子		19	160/69	長崎県立大村工業高校
3	PR	麻生 来海		21	161/75	関東学院六浦高校
4	LO	西村 咲都希		21	164/76	石見智翠館高校
5	LO	森 瑞葵		19	164/72	佐賀県立佐賀工業高校
6	FL	高橋 夢来		21	167/67	桐蔭学園高校
7	FL	持田 音帆莉		22	159/66	麗澤高校
8	No.8	向來 桜子		22	167/71	関東学院六浦高校
9	SH	高橋 夏未		22	160/61	國學院大學栃木高校
10	SO	谷山 三菜子		20	163/62	佐賀工業高校
11	WTB	藤原 郁		19	162/62	京都成章高校
12	CTB	水野 小暖		20	159/66	岐阜第一高校
13	CTB	畑田 桜子		22	161/67	筑紫高校
14	WTB	齋藤 紗葉		19	168/68	関東学院六浦高校
15	FB	大内田 葉月		19	162/64	修猷館高校
16	Re.	樫山 純佳		20	158/72	田辺高校
17		峰 愛美		22	163/80	佐賀工業高校
18		萩原 凜		19	164/68	石見智翠館高校
19		豊島 愛実		19	161/64	佐賀工業高校
20		松田 奈菜実		22	161/68	宮崎県立富島高校
21		島本 慧叶		19	153/52	明和県央高校
22		島本 星凜		21	154/58	関東学院六浦高校
23		橋本 佳乃		20	164/58	埼玉県立本庄高校

\* 背番号の白抜きはキャプテン \* 資格は F:外国籍、A:アジア、E:特別 \* メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』